新しい県総合計画の目標と将来像について

1 考え方

○ 目標は、「人が輝くいばらき」、「活力あるいばらき」、「住みよいいばらき」とする。

[委員のご意見]

- ・現計画の目標,「誰もが安心して健やかに暮らすことのできる『住みよいいばらき』」でいえば, 表題は『住みよいいばらき』だけで良い。具体的な将来像や施策に書き込んでいけば良い。
- 目標の順番は、上記の通りとする。

[委員のご意見]

- ・3つの目標は基本的に良く出来ている。順番を最初は「人」,2番目に産業が来て,3つ目がその成果として「住みよい」の路線がいい。
- ・これからの茨城と考えたとき、未来を支える若い人たちをつくっていくことが重要。「人」こそ 茨城づくりの一番の大元。その後に、ブランド化や茨城を外に打ち出す「活力」。そして、これ らの基盤になる「住みよい」。
- 基本構想においては、簡潔でわかりやすい将来像を示し、基本計画の「政策展開の 基本方向」の中で、政策分野別に具体的な将来像を記述する。

[事務局の考え方]

- ・基本計画の政策毎に、「現状と課題」、「県民のご意見」、「具体的な将来像」、「施策」、「数値目標」 を一覧できる方が、県民によりわかりやすくなるものと考える。
- 政策の名称については、県民に対象となる政策分野がわかりやすく伝わるフレーズとする。

[事務局の考え方]

・目標別の政策分野等については、今後専門部会でご審議いただいた上で、内容を整理したい。

2 将来像と政策の柱の検討

論点

- 目標毎の将来像についてどのように記述すべきか。
 - ・目標を包括的に示す将来像を簡潔に記述(例1)した方が良いか、目標にぶら下が る政策毎の将来像を簡潔にまとめたものを列記(例2)した方が良いか。
 - (例1) 目標の将来像を簡潔に記述し、その将来像を実現するための方策を政策として整理 『誰もが安心して健やかに暮らすことのできる県』
 - (例2) 政策の将来像を設定し、それを簡潔にまとめたものを目標の将来像として列記 『医療・保健・福祉サービスや子育て支援が充実し、安心して暮らせる県』 『県民の暮らしの安全が確保された県』 『豊かな自然を守り、環境と調和した生活を送ることできる県』 『互いに支え合いながら、質の高い暮らしができる県』
- 『人が輝く元気で住みよい いばらき』の具体的な将来像としてどのような視点があるか。
- 目標毎の政策の柱立てについて、どのような政策を置くべきか。
- 〇 目標毎の主な施策分野や政策の数についてどのように整理すべきか。
 - 政策の数を目標毎に揃えるべきか。また、どの程度の数とすべきか。(※現計画:「住」4,「人」3,「活」4)
 - ・政策毎の施策分野についてどのような考え方で整理すべきか。

[委員のご意見]

・将来像の数を揃えた方がわかりやすいのではないか。

※P3 (参考1) は最終頁

【参考2】現計画の目標と将来像及び政策

※**3つの目標**のもとで、具体的な**11の将来像**を掲げ、それぞれの目標に対応する**11の政策**を置いている。

目標	将来像	政策名
	医療・保健・福祉サービスや子育て支援が充実し, 安心して暮らせる県	医療・保健・福祉が充実した安心できる社会づくり
誰もが安心して健やかに	県民の暮らしの安全が確保された県	安全で安心して暮らせる社会づくり
暮らすことができる 「住みよいいばらき 」	豊かな自然を守り、環境と調和した生活を送ることできる県	みんなで取り組む地球にやさしい環境づくり
	互いに支え合いながら, 質の高い暮らしができる 県	人にやさしい良好な生活環境づくり
誰もが個性や能力を発揮し、	地域全体が一体となって次の世代を育むとともに、誰もが主体的に個性や能力を伸ばせる県	いばらきを担うたくましい人づくり
主体的にいきいきと活動 できる	郷土の文化を大切にしながら、健康で明るく心豊 かな生活を送ることができる県	豊かな人間性を育む地域づくり
「人が輝くいばらき」	互いに尊び高め合いながら社会に貢献し,誰もが 地域づくりの主役である県	互いに認め合い支え合う社会づくり
	科学技術研究の枢要な拠点として日本や世界の 発展の一翼を担う県	日本や世界をリードする科学技術創造立県の実現
┃ 競争力ある元気な産業が 集積し、交流が盛んな	競争力ある元気な産業が発展し、豊かに暮らしていける県	国内外の競争に打ち勝つ力強い産業づくり
「活力あるいばらき」	日本の食を支えている農林水産業が盛んな県	日本の食を支える食料供給基地づくり
	東アジアをはじめ世界との、人・もの・情報の交 流が盛んに行われ、地域が活性化している県	人・もの・情報が活発に行き交う交流社会づくり

【参考1】部会における主な委員の意見等

目標	目標 部会における主な委員の意見と施策分野		将来像と政策	
人が輝くいばらき	主な意見	あえて「若い茨城」を入れて、年はとっていても気持ちが若くて活力はありますみたいなフレーズを入れる。子どもたちに、自分たちの住むまちをまず知ってもらって、その地域がこんなにいいよということを知ってもらいたい茨城の魅力という中に、やはりルールを守るとか、郷土を愛するとか、そういうことは入れていかなければいけない	将来像	
	施策分野	【部会の調査審議事項】 学校教育,人材育成,青少年育成,男女共同参画,家庭・地域の教育力,国際理解教育,理科教育, 道徳・規範意識,生涯学習,スポーツ振興,芸術・文化振興,障害者・高齢者の社会参画など 【その他のキーワード】 郷土愛,人権・いじめ,若者・女性・外国人,オリンピック・パラリンピック,茨城国体,歴史など	政策	
活力あるいばらき	主な意見	 ・(将来像として) 「科学技術研究の枢要な拠点となるとともに、競争力ある産業が集積、発展していける県」 ・「地域が国際化」という風に、「国際」という言葉を入れてはどうか ・「科学力」、「創造力」、「イノベーション」、そういうもので常に活力を持つのだというこのキャッチフレーズをどこかに入れて欲しい ・県内のものづくり企業は、全国区で通用する力を持っている ・いばらきの食材は、世界の中でもトップクラスのものがすごくある 	将来像	
	施策分野	【部会の調査審議事項】 科学技術,商工・サービス,ものづくり,農林水産業,雇用・就業環境,農商工連携・6次産業化,エネルギー,国際展開,観光振興,地域活性化,物流,広域交通,ICT,イメージアップなど【その他のキーワード】 研究開発,国際競争力強化,産業振興,経営力向上,ブランド化など	政策	
住みよいいばらき	主な意見	 (将来像として)「災害に強くて長く安心して暮らし続けられる県」 30年間には地震が来るので、そこは、安心・安全の面を強調し、茨城は科学力とかシミュレーションで絶対大丈夫ですみたいな、ちょっと尖ったキャッチフレーズを入れる ある種の茨城スタイル、あるいは茨城メソッドみたいなものが構築できるといい(ライフスタイルも含めて) 健やかに暮らすことができるというのは、生涯を通じてであるべきで、この県に生まれこの県で死ぬという生涯を通じてさまざまな形で安心な暮らしが保障されるという表現も必要 	像	
	施策分野	【部会の調査審議事項】 保健・医療・福祉,生活衛生,少子・高齢化,健康づくり,防犯・治安・安全,防災・危機管理, 消費生活,地球温暖化,資源循環(再生可能エネルキ゛ー),環境保全,住環境,生活交通, 地域社会活動(ボランティア),国際化・多文化共生 【その他のキーワード】 空き家,地域コミュニティ,地域の見守り,コンパ゚クトシティなど	政策	